

2016年度 埼玉県理容美容専門学校 自己点検評価委員会議事録

【日 時】2017年6月28日（水）09:00～11:00

【会 場】埼玉県理容美容専門学校 3階 会議室

【委 員】 評価委員 4名

委員長／校 長 相川 浩一
事 務 長 浦野 智子
経営企画部長 島田 美紀
教 務 課 長 中川 一江

1 開会の辞（校長 相川 浩一）2016年度 自己点検評価委員会を開催することを宣言した。

2 校長挨拶（校長 相川 浩一）

学校の「自己点検評価」に対して真摯な態度で臨みかつ公正な評価を行い、今後の学校活動に有益な意見交換を求める。

3 審議事項

①「1.学校の教育目標」についての審議

校長 / 現状として妥当なものである。特に（3）の職業人としての教育は昨今多方面から学生指導が強く望まれていると認識している。

②「2.本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画」

校長 / 6時間授業を導入し学習意欲の向上が図られたと考える。履修基準等についての抜本的な見直しも行われた。

中川 / 放課後の有効活用として、補修やボランティア活動及び各種検定の練習会など学生が無理なく取り組めた。

島田 / 新たなブランディングとして理美容それぞれの技術に特化したカリキュラム作りを進めている。

浦野 / 教育環境の改善や教職員の資質向上に資するためSDを計画的に進めている。

③「3.評価項目の達成及び取組状況」については、各項目につき、前年度との比較検証をしながら評価を行う。

1) 教育理念・目標

校長 / ①学校の教育目標として学校の理念・目的・育成人材像を、定め、その特性を明確にしていると認識している。「5」が妥当と考える。

- 島田 / ②業界団体（理容組合・美容組合）との連携を始め、第一線で活躍する現職の理容師・美容師が講師として授業に参画する事で活きた知識や技術を全員に学ばせている。「5」が妥当と考える。③高校新卒者の受入れが90%を占めるが、社会人入試、留学者入試など門戸を広く多様な資格取得希望者の受入れ態勢を整備したので「5」が妥当と考える。④学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などは、引き続き学生・保護者等への周知に努めており、入学前からの説明を徹底している。「5」が妥当と考える。
- 校長 / ⑤各学科の教育目標、育成人材像は、より広く社会のニーズに応えるよう改善の途上であるので「4」が妥当と考える。

2) 学校運営

- 校長 / ①本校における教育理念、及びその目的・目標を明確にし、その実現に向けて運営方針を充実させている。現在は途上であるので「4」が妥当と考える。
- 浦野 / ②各部署において立案した事業計画を基に、運営会議において学校全体の年度計画として策定、理事会・評議員会の承認を得た上で実施している。その実施状況についても、理事会及び評議員会に報告し、承認を得ている。「5」が妥当と考える。③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているかを寄附行為や学則、及び本校組織図等により定められている。有効に機能させるべく改革を推進中なので「4」が妥当と考える。
- ④人事、給与に関する規程等は整備されているかに関しては、就業規則や給与規程等により定められ、教職員にも周知されている。「5」が妥当と考える。⑤教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているかについても④と同様に寄附行為や学則その他により定められているとおりで。「5」が妥当と考える。
- ⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているかに関しては、法令や社会的規範等の遵守については、就業規則にも定めているが、教職員の周知徹底について「4」が妥当な現状と考える。
- 島田 / ⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているかについては、ホームページや学校案内等により情報を公開している。情報公開の程度は「4」が妥当と考える。

⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているかに関しては学籍データ等の情報一元管理を図っているが充分ではない。物理的サーバーにより業務の効率化を進めている。「4」が妥当と考える。

3) 教育活動

- 島田 / ①教育課程の編成や実施方針は教育理念や目標に沿って策定しているが社会のニーズとの整合性が充分ではないので「4」が妥当と考える。②年間カリキュラムの編成はシラバスの作成と連動して明確

であり、補習や補講を充実させている。「5」が妥当と考える。
③学生が効率よく学べるよう体系的に編成しているので「5」が妥当と考える。

中川 / ④業界のニーズや学生本人の希望を考慮し、より実践的な職業教育のために現職の理容師・美容師が現場の活きた技術も教授している。今後はいっそうの充実を図りたいので「4」が妥当とする。

浦野 / ⑤教育課程編成委員会を設置し、委員会での審議（年2回開催）を通して、カリキュラムや教育内容の見直しを実施している。「5」が妥当と考える。

中川 / ⑥通常の授業での実習と合わせ、実務実習として実際の理容・美容サロンの協力の下での実習を、1年次春期（実働7日間）及び2年次夏期（実働12日間）に行い、その体験をフィードバックすることにより、体系的かつ実践的な職業教育を行っている。ので「4」が妥当とする。

校長 / ⑦授業評価の実施・評価体制は教育課程編成委員会を設置し、委員会での審議を通して、授業評価を実施しているので「5」としたい。⑧1年次ではフェイシャル・エステ、2年次ではテクニカル授業を設け、外部講師による専門分野の技術の強化を図るとともに、本校での職業実践教育に対する評価も得ているよって「5」が妥当とする。

中川 / ⑨成績評価や進級・卒業の判定については、学習評価規程を設け、それを基に行っている。「5」が妥当と考える。

校長 / ⑩国家資格取得について合理的なカリキュラムを編成し試験対策も充分に行い全員合格へ向けた指導を行っている。また、エステやメイク、ネイル等その他の資格についても、通常のカリキュラムの中で対応する事で経済的な負担も軽減し、希望者には講習会を開く等、資格の取得を奨励している。「5」が妥当と考える。

浦野 / ⑪教職員のSDを推進して資格・経験・知識や技術等を有した人材の確保を実現している。「5」とする。
⑫業界団体（理容組合・美容組合）における講師資格を持ち、優れた経験や技術を有した現役の理容師・美容師を講師として確保する等、業界との連携によるマネジメントを行っている。この項目は「5」が妥当と考える。

校長 / ⑬資質向上のためSDを計画的に実施している。⑭自主的に受講しようとする教職員には、その費用を助成している。2点について現状「4」が妥当と考える。

4) 学修成果

島田 / ①今年度も就職先の確保は順調であり、理美容のサロンを中心に、資格を活かして有利な就職が期待できる美容系のサービス等、約2000件の求人を常時確保する事ができた。平成28年度は、理

容94%、美容99%、就職内容、他業種に進んだものは2名に止まった。また、本校主催の就職フェアには、昨年以上の参加店舗数となり、就職へ向けて意思向上のきっかけとなっている。個別の相談も多く、多くの学生が利用しており、就職支援についての満足度は高いので「5」が妥当と考える。

中川 / ②理容師・美容師資格の取得へ向け、体系的にカリキュラムを編成しているとともに、学修意欲や資格取得へのモチベーションを維持、向上させるよう、クラス担任を中心に指導している。また、国家試験前には、事前講習会等も実施し、全員合格へ向けた試験対策も行っている。その結果として、平成28年度卒業生の国家試験では、理容科は97.1%、美容科も99.3%の合格率を達成している。その他エステやメイク、ネイル、パーソナルカラー等の資格についても、希望者には必要に応じて講習会を開く等のサポートを行い、いずれも平均を大幅に上回る合格実績を出している。「5」が妥当と考える。③各クラス担任を中心に学生の状況把握に努め、本人及び保護者とも即座に連絡を取り退学防止を図っているがこの年度については退学者が「3」が妥当と考える。

島田 / ④卒業生については、毎年アンケートを実施する予定である。また、既卒者の離職や転職相談も随時実施しており、サロンオーナーになった者、都内で有名店の店長になった者等、各分野で活躍している卒業生についてデータ化を進めている。「5」が妥当と考える。⑤卒業後も、目的を持ったキャリア形成が継続できるよう5月に就職セミナー、キャリアガイダンスを実施しキャリアを形成する礎とする。そして、その土台を在学中に活かすよう、サロン実習や就職フェア、各種ボランティアを行い常に教育を改善している。「5」が妥当と考える。

5) 学生支援

島田 / ①就職プログラムや自校開催の就職フェアが定着し、学生自身の職業観を深め自主的な就職活動に繋がっている。1年次から就職プログラムや就職フェアへ参加させることで意識を高め、2年次にはさらに個別指導や相談を行う等の継続的な活動が効果を出している。カリキュラムの上でも、社会常識やマナー教育、基本的な職業観を身につける等の工夫を行い、全体として、進路・就職に関する支援を充実させている。「5」が妥当と考える。

島田 / ②クラス担任と学生支援室による様々な角度からの相談を強化し、一方通行にならない学生支援を行っている。コーチングとコンサルティングに加えて、カウンセリングの要素を持った学生指導に努めている。「5」が妥当と考える。

浦野 / ③学費については、日本学生支援機構の奨学金や国の教育ローンその他、本校と金融機関との提携ローンを活用する等、学生への経済的な支援体制を設けている。また、様々な事情がある学生に対しては、担当者が個別に、その状況に応じた対応を行っている。今年度からは、学費に関する減免規程も施行し、教育訓練給付金等の公的資金援助等も含め、さらに経済的な支援体制の整備を図

る。「4」が妥当と考える。④毎年4月に健康診断を実施し、学生の健康状態を管理している。日常的には事務室に常備薬を置き保健室にて対応し、病院への連絡態勢も整えているが安全面で充分ではない。「3」が妥当と考える。

中川 / ⑤地域社会との交流を深め、理容・美容の技術を活かしたボランティア活動へも、多くの学生が積極的に参加している。また、ミス・ユニバース埼玉大会や子役の公開オーディション、婚礼美容室での協力体験等、個々の職業観を高められる取り組みや、職業実践的な課外活動への支援も行っている。「4」が妥当と考える。

浦野 / ⑥遠方からの学生に対して、近隣の学生会館やアパート等を、業者との提携により有利な条件にて紹介できるように対応している。必要に応じて理容・美容関連のアルバイト等も紹介しているが、「3」が妥当と考える。

相川 / ⑦保護者との連携は、保護者会の会合で学生の現況や今後の学校の方針についての説明だけでなく、保護者からの質問や意見も取り上げ、ともに理解を深め、協力しあえるような態勢作りを行っている。年3回の定期試験後の成績表の送付や、学校行事の通知等、日常的にも保護者との連絡を取っている。特に、学生に何か問題が生じた場合には、即座に保護者と連絡を取り合い、早期に適切な対応を行えるように留意している。充分ではない。「4」が妥当と考える。

島田 / ⑧卒業生へのキャリアコンサルティングを充実させ、進路変更や再就職等多岐に亘る相談にも対応している。卒業生が来校しなくてもタイムリーに相談できるよう、WEBでの対応を実施しているが充分周知はできていないので「4」が妥当と考える。

中川 / ⑨理容師・美容師としての知識や技術だけでなく、社会人としての基本も身に就くよう、社会常識やビジネスマナーについても修得させている。また、附帯教育事業として通信課程を設けているが、今年度は昼間課程の入試についても、社会人がチャレンジしやすい日程や内容となるよう改善を図っている。「4」が妥当と考える。

島田 / ⑩県内の高校を中心に、説明会や模擬授業等を行う他、学校施設の見学等も受入れている。また、高校のインターンシップ事業にも協力し、生徒の受入れも行っている。高校からは、卒業生講話、就職講演、面接指導等の依頼もあり、相互に職業実践的な取組を行っている。「5」が妥当と考える。

6) 教育環境

浦野 / ①施設や設備については、教育上の必要性に応じて整備している。今後の施設や設備の老朽化に対しては、計画的に拡充や更新を行い、教育環境の充実を図っていく。「4」が妥当と考える。

中川 / ②1年次春期及び2年次夏期に、実務実習として実際の理容・美容サロンでの研修を行うに際しては、事前（1年次夏期）に、各自サロン見学（大型店・中型店・小型店）を行い、接客マナー等も含め実習を行う上での心構えや注意事項等の指導を行う。さらに実習期間中には、担当教員が実習先の担当者に連絡し、学生のフォローを行っている。「5」が妥当と考える。③毎年防災訓練を実施し、災害時の対応や避難経路の確認等を行っている。

浦野 / また、学生・教職員を含め、災害時の帰宅困難者等の発生も予測し、計画的に備蓄品を整備している。「4」が妥当と考える。

7) 学生の受入れ募集

島田 / ①学校案内や募集要項の記載内容、学生募集時期等は、関係諸機関との申し合わせ事項等に基づき、適正なものとなっている。また、高校等への実際の募集活動においては、特に個人情報の安全かつ適正な取扱いに注意し、お互いの信頼関係に基づいた活動を行っている。②本校における教育成果については、学校案内やホームページ等にて公表している。また、高校生や保護者を対象とした説明会等においても、募集活動上必要な情報として、教育成果は正確に伝えている。2点については「5」が妥当と考える。

浦野 / ③学生納付金の金額は、通常徴収する学費等の全額を公表している。また、金額としても、本校の教育内容に鑑みて妥当なものと考えられる。ただし、今後の教育環境整備の必要上、学費の見直しを行う予定である。「5」が妥当と考える。

8) 財務

浦野 / 無借金による学校経営を維持しており、財政基盤は安定している。ただし、長期的には学生数の減少も予測されるので、さらに安定した財政基盤づくりが必要となる。その為には、今後とも経費の削減に努めるとともに、平成30年度より学費の改定を実施する。② 学校としての運営方針を基に予算・収支計画を策定し、必要に応じて補正予算も組んでいるが、いずれも評議員会・理事会の承認を得た上で執行している。また、その執行状況についても、月次毎に会計事務所の精査を受けており、有効かつ妥当なものとなっている③会計監査は年1回、会計事務所立会いの下、監事2名により適正に行われている。以上3点は「4」が妥当と考える。④ 埼玉県情報公開条例の規定に基づき、財務情報を公開している。「5」が妥当と考える。

9) 法令等の遵守

校長 / ①関係法令や専修学校設置基準、及び理容師養成施設指定規則・美容師養成施設指定規則等を遵守し、適正な運営を行っている。「4」が妥当と考える。

浦野 / ②個人情報の取扱については十分な注意をはらうとともに、外部からの不正侵入を防止する為に、ネットワークセキュリティを強化している。また、教職員が使用する各PCについてもセキュリティ対策を講じ、別人が不正にデータにアクセスすることや、データを持ち出すことを防止し、個人情報の保護を図っている。「4」が妥当と考える。③自己評価は毎年実施し、問題点については、関係部署にて協議の上、その改善策を立案し実施している。また、学校関係者評価委員会において外部評価も行い、問題点の把握に努めているので「4」が妥当と考える。④自己評価結果に併せて、学校関係者評価委員会の結果についても、ホームページ上で公開している。「4」が妥当と考える。

10) 社会貢献・地域貢献

中川 / ①県「青少年夢のかけはし事業」に協力し、理容師・美容師希望の小学生を受入れ、体験学習を行っている。また、さいたま市トレンナーレ2016「パートナーシップロゴ事業」に参加した。②地元商店街や商業施設からの、ハロウィンのイベントにおけるメイク協力依頼等、理容・美容の技術を活かした学生へのボランティア活動依頼が増えている。清掃活動、蓮田ハストピア、さいたまスーパーアリーナ「スマイルウーマンフェスタ」などに参加した。この2点は「5」が妥当と考える。③高校からのインターンシップ事業への協力依頼を受け、平成28年度も2校から希望者を受け入れ、職業訓練教育を実施している。また、地域の公開講座や鶴岡八幡宮、高校へのメイク講座等の講師として、教員の派遣依頼も受けている。地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等については、高校からのインターンシップ事業への協力依頼を受け、平成27年度も2校から希望者を受け入れ、職業訓練教育を実施している。また、地域の公開講座等の講師として、教員の派遣依頼も受けている。「5」が妥当と考える。

「4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果」

校長 / 以上、各項目の評価点を承認いただきたい。

挙手により全員一致で承認される。

「職業実践専門課程」の認可に伴い、更に教育質向上を実践するために「学校スタッフの育成」（SD）の年間研修計画を立て実践している。

また、学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会を行い、真摯に学校評価を進め、改善点があれば直ちに改善に向かい実施することができた。

今後も、国家試験の合格率、就職率の高さは、常にトップレベルを維持しながら卒業後、即戦力になるよう今まで以上にサロンワークの充実に取り組みたい。

この自己点検評価の結果を報告書にまとめる。学校運営において概ね健全であると考えているが、本校に不足しているもの、今後必要

となるもの等を明確にするため学校関係者評価委員会等の意見を参考にしていきたい。

以上について、報告書を学校関係者委員会による学校評価委員会に提出し、結果をホームページ上に公開することを確認し、閉会とする。

以上

2017年6月28日（水）